

財務報告書 2013

平成 24 事業年度

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 平成24事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成24年度末における財政状態を表したものです。

「資産」は前年度比7億円増加の508億円、「負債」は前年度比3億円減少の122億円、また「純資産」は前年度比10億円増加の386億円となっています。

貸借対照表

【平成25年3月31日】

(単位：億円)

区分	23年度	24年度	増減
資産の部	499	508	9
【固定資産】	420	423	3
土地	115	115	0
① 建物等	230	229	▲ 1
② 備品	60	64	4
図書	8	8	0
その他固定資産	5	7	2
【流動資産】	79	85	6
③ 現金・預金	38	38	0
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	44	47	3
資産合計	501	508	7

区分	23年度	24年度	増減
負債の部	125	122	▲ 3
⑤ 資産見返負債	25	27	2
⑥ 借入金	13	13	0
⑦ 未払金	46	48	2
寄附金債務	7	7	0
その他負債	33	27	▲ 6
純資産の部	376	386	10
資本金	346	346	0
資本剰余金	▲ 8	▲ 8	0
⑧ 利益剰余金	38	48	10
負債・純資産合計	501	508	7

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：229億円（1億円減少）

・建物等229億円は、建物等の取得価格282億円から減価償却累計額53億円を控除した額です。

②備品：64億円（4億円増加）

・備品64億円は、備品の取得価格141億円から減価償却累計額77億円を控除した額です。

③現金・預金：38億円（前年同額）

・現金・預金は38億円で、前年同額となっています。

④その他流動資産：47億円（3億円増加）

・その他の流動資産として、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、医薬品及び診療材料などで47億円となっています。

負債の部

⑤資産見返負債：27億円（2億円増加）

・資産見返負債は27億円で、昨年度より2億円の増となっています。資産見返補助金等と資産見返寄附金の増によります。

⑥借入金：13億円（前年同額）

・長期借入金は、前年同額の13億円となっています。

⑦未払金：48億円（2億円増加）

・未払金48億円の内訳は、職員退職金未払金7億円、リース債務のうち1年以内支払分7億円及び4月以降に支払う経費です。

純資産の部

⑧利益剰余金：48億円（10億円増加）

・目的積立金15億円、積立金16億円及び平成24年度当期末処分利益17億円の計48億円となっています。

費用・収益の状況

「損益計算書」は平成24事業年度の運営状況（経営成績）を表したものです。

「経常費用」は前年度比3億円増加の299億円、「経常収益」は前年度比5億円増加の308億円です。
この差額に臨時損益及び目的積立金取崩を加えた当期総利益は、前年度比8億円増加の17億円となっています。

損益計算書

【平成24年4月1日～平成25年3月31日】

(単位：億円)

区分	23年度	24年度	増減
①教育・研究等経費	23	24	1
②診療経費	120	123	3
受託研究・事業費	3	3	0
③人件費	145	145	0
一般管理費	5	5	0
財務費用	1	1	0
経常費用	296	299	3
臨時損失	0	0	0
当期総利益	9	17	8
計	304	316	12

区分	23年度	24年度	増減
運営費交付金収益	61	60	▲1
④附属病院収益	213	219	6
学生納付金収益	8	8	0
⑤外部資金収益	3	3	0
雑益	8	8	0
その他収益	8	10	2
経常収益	303	308	5
⑥臨時利益	0	6	6
目的積立金取崩	1	2	1
計	304	316	12

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

①教育・研究等経費：24億円（1億円増加）

- ・国、道からの補助金獲得による経費の増
- ・研究機器の減価償却費の増

②診療経費：123億円（3億円増加）

- ・患者数の増に伴う医薬材料費等の増

③人件費：145億円（前年同額）

- ・外部資金で雇用した人員の人件費増
- ・退職者減少による退職手当の減

経常収益

④附属病院収益：219億円（6億円増加）

- ・入院患者数の増に伴う診療収入の増
- ・診療単価の増に伴う診療収入の増

⑤外部資金収益：3億円（前年同額）

- ・受託研究費・事業費収益は、前年同様

⑥臨時利益：6億円（6億円増加）

- ・中期目標期間最終年度による運営費交付金の収益化

○平成24事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	42,292
1	有形固定資産	41,616
	土地	11,544
	建物	22,169
	構築物	710
	工具器具備品	6,350
	図書	814
	その他	29
2	無形固定資産	137
	特許権	10
	ソフトウェア	72
	その他	54
3	投資その他の資産	539
	投資有価証券	0
	その他	539
II	流動資産	8,532
	現金及び預金	3,815
	未収学生納付金収入	1
	未収附属病院収入	3,955
	有価証券	0
	医薬品及び診療材料	445
	たな卸資産	8
	未収入金	303
	その他	5
	資産合計	50,825
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	5,779
	資産見返負債	2,718 ※1)
	長期寄附金債務	215
	長期借入金	1,300
	引当金	0
	長期未払金	1,372
	資産除去債務	173
II	流動負債	6,471
	運営費交付金債務	0
	寄附金債務	746 ※2)
	前受受託研究費等	151
	1年以内返済長期借入金	520
	未払金	4,795 ※3)
	その他	259
	負債合計	12,249

純資産の部		
I	資本金	34,585 ※4)
II	資本剰余金	▲ 777 ※5)
III	利益剰余金	4,768
	目的積立金	1,454 ※6)
	積立金	1,616 ※7)
	当期末処理利益	1,697
	純資産合計	38,575
	負債・純資産合計	50,825
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 目的積立金～自己収入の獲得増や効率的運用により生じた剰余金です。
- ※7) 積立金～経営努力によらない剰余金であり、翌期以降の損失の補填に充当します。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)	
費用	経常費用		29,926
	業務費		29,455
	教育経費		488
	研究経費		1,483
	診療経費		12,306
	教育研究支援経費	※1)	417
	受託研究費		213
	受託事業費		70
	人件費		14,476
	一般管理費		457
財務費用	※2)	14	
収益	経常収益		30,846
	運営費交付金収益		6,031
	授業料等収益		838
	附属病院収益		21,903
	受託研究等収益		226
	受託事業等収益		78
	寄附金収益		584
	施設費収益		40
	補助金収益		515
	資産見返負債戻入	※3)	366
	財務収益		3
雑益		262	
経常利益			920
	臨時損失		2
	臨時利益	※4)	621
当期純利益			1,538
	目的積立金取崩額	※5)	159
当期総利益			1,697

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、建設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・「受託研究費」「受託事業費」は、受託研究等に係る人件費を含む

【経常収益】

- ・「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

【臨時損失】

- ・臨時損失は、固定資産の除却を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息
(償還利率 ①②0.105%、③0.85%、④0.90%、⑤0.55%、⑥0.35%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4) 臨時利益～平成19年度から平成23年度にかけて繰り越してきた運営費交付金債務を中期目標期間最終年度により収益化したもので、最終年度特有の会計処理となっています。

※5) 目的積立金取崩額～目的積立金を財源とした費用相当額を計上します。平成24年度においては、目的積立金を取り崩し、教育研究用機器の更新や新規事業に伴う施設の改修等に充当しています。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	1,366
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 14,376
人件費	▲ 14,774
その他の業務支出	▲ 457
運営費交付金収入	6,333
授業料収入	684
入学金収入	82
検定料収入	16
附属病院収入	21,856
受託研究等収入	209
受託事業等収入	109
補助金等収入	711
寄附金収入	634
預り科学研究費補助金等増減	43
その他収入	296
設立団体納付金の支払額	0
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 796
有価証券の取得による支出	▲ 1,300
有価証券の償還による収入	1,300
有形固定資産の取得による支出	▲ 997
無形固定資産の取得による支出	▲ 74
定期の預入による支出	▲ 891
定期の払出による収入	695
施設費による収入	467
利息及び配当金の受領額	3
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 725
長期借入れによる収入	520
長期借入金返済による支出	▲ 520
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 711
利息の支払額	▲ 14
IV 資金に係る換算差額	0
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	▲ 155
VI 資金期首残高	3,774
VII 資金期末残高 (V + VI)	3,619

【業務活動】

教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 14億円

【投資活動】

固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲8億円

【財務活動】

借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲7億円

平成24年度キャッシュ増加額 ▲1億円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)	
I	業務費用	6,079	<p>道からの財源で賄われているコスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの <p>(1) 損益計算書の費用：299億円</p> <p>(2) (控除) 自己収入等：238億円</p> <p>業務費用：61億円</p>
	(1) 損益計算書上の費用	29,928	
	業務費	29,455	
	一般管理費	457	
	財務費用	14	
	臨時損失	2	
	(2) (控除) 自己収入等	▲ 23,849	
	授業料収益・入学料収益・検定料収益	▲ 838	
	附属病院収益	▲ 21,903	
	受託研究等収益	▲ 226	
	受託事業等収益	▲ 78	
	寄附金収益	▲ 584	
	資産見返運営費交付金等戻入	0	
	資産見返寄附金戻入	▲ 64	
	財務収益	▲ 3	
	雑益	▲ 131	
	臨時利益	▲ 22	
II	損益外減価償却相当額	1,035	<p>損益計算書に計上されていないコスト：15億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額
III	損益外利息費用相当額	3	
IV	引当外賞与増加見積額	8	
V	引当外退職給付増加見積額	496	
VI	機会費用	202	<p>免除もしくは軽減されているコスト：2億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額
	・ 国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	16 ※1)	
	・ 地方公共団体出資の機会費用	186 ※2)	
VII	(控除) 設立団体納付金	0	
VIII	行政サービス実施コスト	7,823	行政サービス実施コスト：78億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：平成25年3月31日における10年国債の利回りを参考に0.560%で計算しています。

利益の処分に関する書類

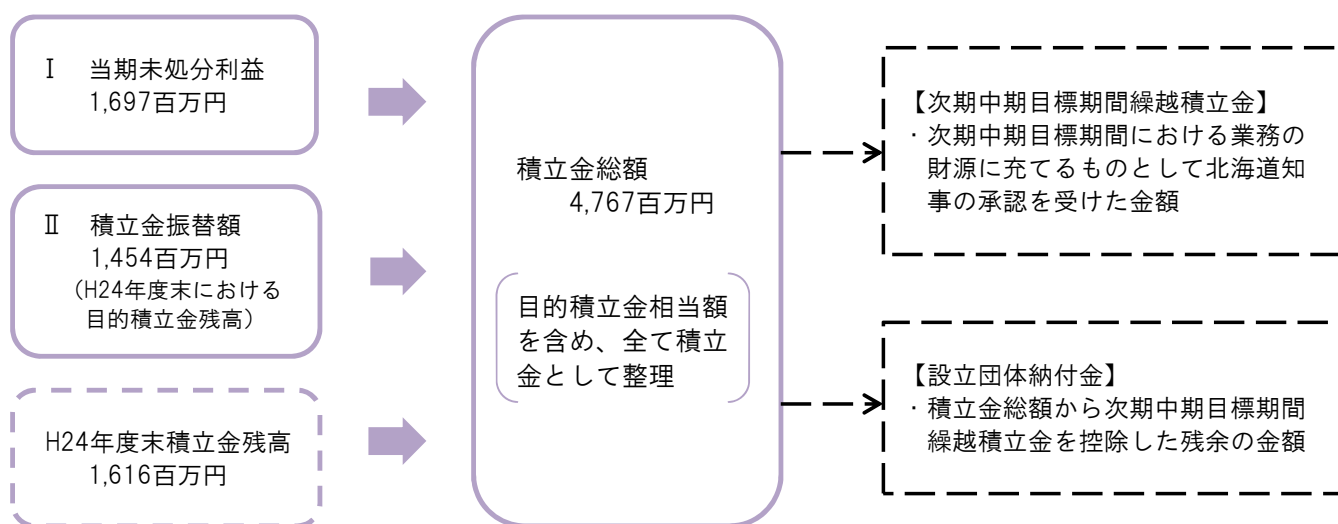
注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 当期末処分利益	
当期末総利益	1,697
II 積立金振替額	
目的積立金振替額	1,454
III 利益処分額	
積立金	3,152

- ・ 地方独立行政法人会計基準により、中期目標期間の最終年度における当期末処分利益は、積立金として整理します。
- ・ また、目的積立金（自己収入の獲得や、効率的・弾力的な事業運営、経費節減等の創意工夫により生じた剰余金）が残っている場合も、積立金に振り替えることとなります。
- ・ なお、中期目標期間における積立金総額のうち、北海道知事の承認を受けた金額については、次期中期計画で定める「積立金の使途」の財源に充てることができます。（※）

（※）中期目標期間における積立金について



【積立金の使途（第二期中期計画）】

- ・ 大学（附属病院含む。）に係る施設設備整備事業
- ・ その他、教育・研究・診療・社会貢献に係る業務及びその附帯業務

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	32,341	34,141	1,800	
運営費交付金	6,458	6,482	24	※1)
施設整備費補助金	567	519	▲ 48	※2)
自己収入	22,997	23,953	956	
授業料及び入学検定料収入	887	839	▲ 48	※3)
附属病院収入	21,200	21,903	703	※4)
雑収入	910	1,211	301	※5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	978	1,904	926	※6)
長期借入金収入	520	520	0	
目的積立金取崩収入	821	763	▲ 58	※7)
支出	32,341	32,129	▲ 212	
業務費	29,979	29,894	▲ 85	
教育研究経費	2,190	2,493	303	※8)
診療経費	11,594	12,407	813	※9)
人件費	15,429	14,476	▲ 953	※10)
一般管理費	766	518	▲ 248	※11)
施設整備費	1,087	1,039	▲ 48	※12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	741	662	▲ 79	※13)
長期借入金償還金	534	534	0	
収入－支出	0	2,012	2,012	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 北海道から運営費交付金債務の充当について通知があったことにより、予算額に比して決算額が24百万円増加しました。
- ※2) 入札結果に基づく契約確定額の減により、予算額に比して決算額が48百万円減少しました。
- ※3) 休学者の増に伴う授業料の減等により、予算額に比して決算額が48百万円減少しました。
- ※4) 入院患者数の増等により、予算額に比して決算額が703百万円増加しました。
- ※5) 文部科学省補助金（研究開発施設共用等促進費補助金）に係る収入増等により、予算額に比して決算額が301百万円増加しました。
- ※6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことに加え、前年度からの繰越等951百万円があったことにより、予算額に比して決算額が926百万円増加しました。
- ※7) 事業の実績額の減により、予算額に比して決算額が58百万円減少しました。
- ※8) ※5) に示した理由により、予算額に比して決算額が303百万円増加しました。
- ※9) 医薬材料費等の増により、予算額に比して決算額が813百万円増加しました。
- ※10) 教職員人件費等の減により、予算額に比して決算額が953百万円減少しました。
- ※11) 経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が248百万円減少しました。
- ※12) ※2) に示した理由により、予算額に比して決算額が48百万円減少しました。
- ※13) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が79百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

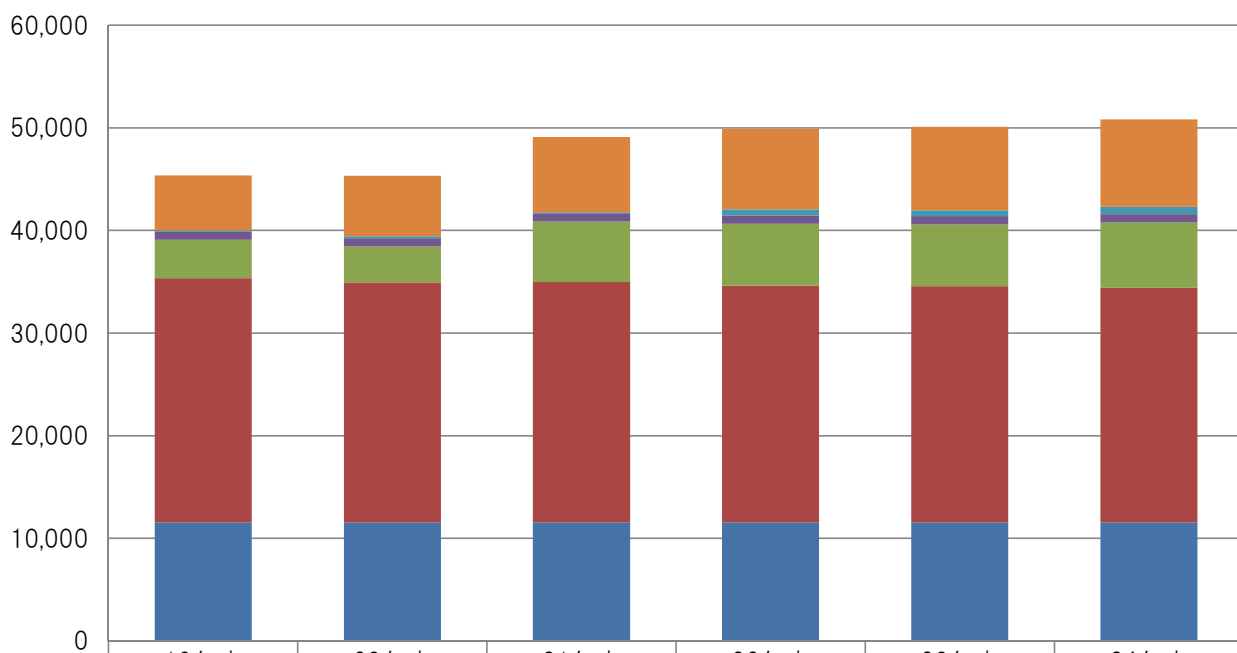
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	454	453	491	499	501	508	P10 ～ P11
		うち固定資産	400	394	418	420	420	423	
		負債	93	90	124	125	125	122	
		うち借入金	5	9	12	13	13	13	
		純資産	360	363	367	374	376	386	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	269	277	289	290	296	299	P12 ～ P13
		うち人件費	136	144	146	144	145	145	
		経常収益	279	284	292	300	303	308	
		うち運営費交付金	66	70	69	63	61	60	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	15	7	3	10	9	17	P14
		目的積立金	9	6	2	4	6	0	
		積立金	6	1	1	6	2	17	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	195	195	208	210	215	218	P15
		業務収益	199	197	206	217	220	225	
		業務利益	4	2	▲2	7	5	7	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	14	17	17	21	24	14	P16
		投資活動	▲6	▲9	▲6	▲5	▲16	▲8	
		財務活動	▲1	▲1	▲2	▲4	▲6	▲7	
		資金期末残高	7	14	23	36	38	36	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	92	82	104	87	82	78	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

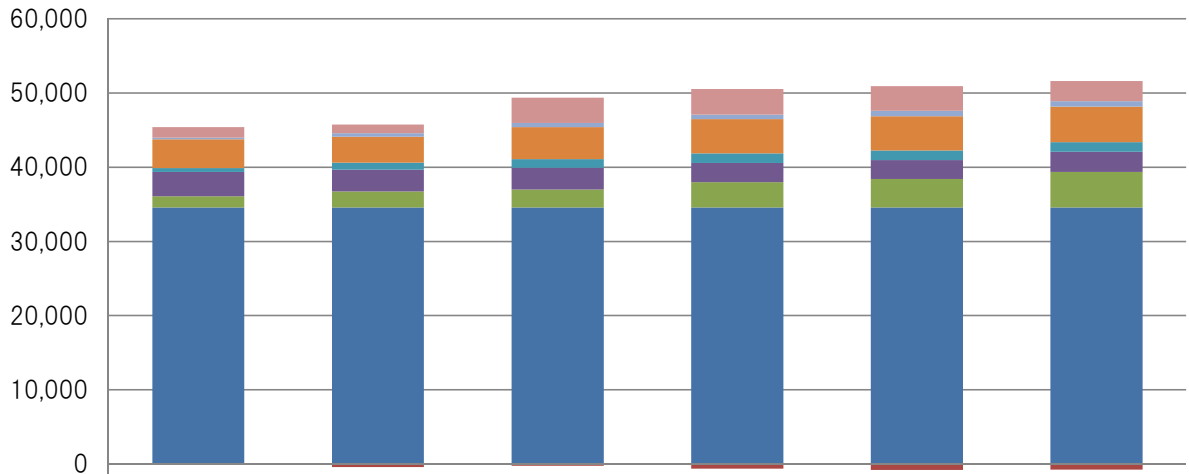


流動資産	5,352	5,890	7,334	7,861	8,137	8,532
その他	127	204	109	595	582	705
図書	767	786	812	787	799	814
設備	3,766	3,503	5,878	6,033	6,006	6,350
建物	23,795	23,404	23,434	23,084	23,037	22,879
土地	11,544	11,544	11,544	11,544	11,544	11,544

(単位：百万円)

区分	24年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	16.8%	・ 現預金、有価証券（1年以内） ・ 未収附属病院収入 ・ 未収学生納付金収入 ・ 病院医薬品在庫	395	・ 現預金増41 ・ 未収附属病院収入増37 ・ 未収入金増181 ・ 病院医薬品在庫138
固定資産	図書等	その他	・ 特許権 ・ 有価証券（1年超） ・ 未収財源措置予定額	123	・ 建設仮勘定▲16 ・ ソフトウェア71 ・ 未収財源措置予定額52
		図書	・ 書籍 ・ CD-ROM ・ 雑誌（製本済みのもの）	15	・ 当期取得17 ・ 除去2 ・ 蔵書数24年度末 240,371冊
	設備建物	設備	・ 実験、診療器具 ・ 車両運搬具	344	・ 当期取得2,168 【減価償却負担▲1,789】
		建物	・ 校舎、研究所 ・ 病院 ・ 宿舎、学生寮 ・ ファミリーハウス	▲ 158	・ 当期取得843 【減価償却負担▲1,000】 ・ 施設の改修工事
	土地	土地	・ 上記の敷地 ・ グラウンド	0	・ 昨年度と同

負債・純資産



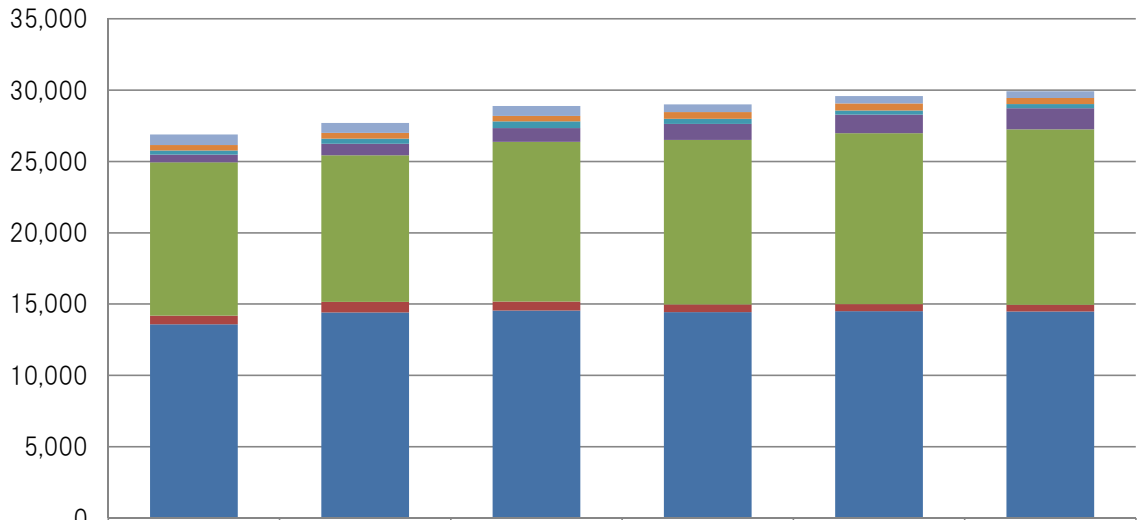
▲ 10,000

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
■ その他債務	1,402	1,189	3,401	3,441	3,302	2,691
■ 寄附金債務	206	464	546	619	733	746
■ 未払金	3,888	3,506	4,304	4,583	4,636	4,795
■ 借入金	520	910	1,170	1,300	1,300	1,300
■ 資産見返負債	3,292	2,967	2,953	2,592	2,539	2,718
■ 利益剰余金	1,500	2,135	2,397	3,408	3,833	4,768
■ 資本剰余金	▲ 43	▲ 425	▲ 246	▲ 624	▲ 822	▲ 777
■ 資本金	34,585	34,585	34,585	34,585	34,585	34,585

(単位：百万円)

区分	24年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他負債	その他債務	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	▲ 611	・リース債務減▲273 ・運営費交付金債務減▲358
		寄附金債務	・繰越して使用予定の寄附金	13	・寄附金債務増13
		未払金	・平成25年4月支払いの経費	159	・施設費関係の業者への未払
		借入金	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	0	・昨年度と同
		資産見返負債	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	179	・道からの承継資産償却額▲115 ・補助金等の取得による増261
純資産	利益剰余金	9.4%	・目的積立金(24年度末分) ・積立金(24年度末分) ・未処分利益(当期総利益)	935	・当期総利益1,697 ・目的積立金取崩▲763
	資本剰余金	-1.5%	・施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	45	・施設整備補助金財源取得478 ・目的積立金財源取得604 ・当期損益外減価償却累計▲1,035
	資本金	68.0%	・法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	0	・昨年度と同

経常費用

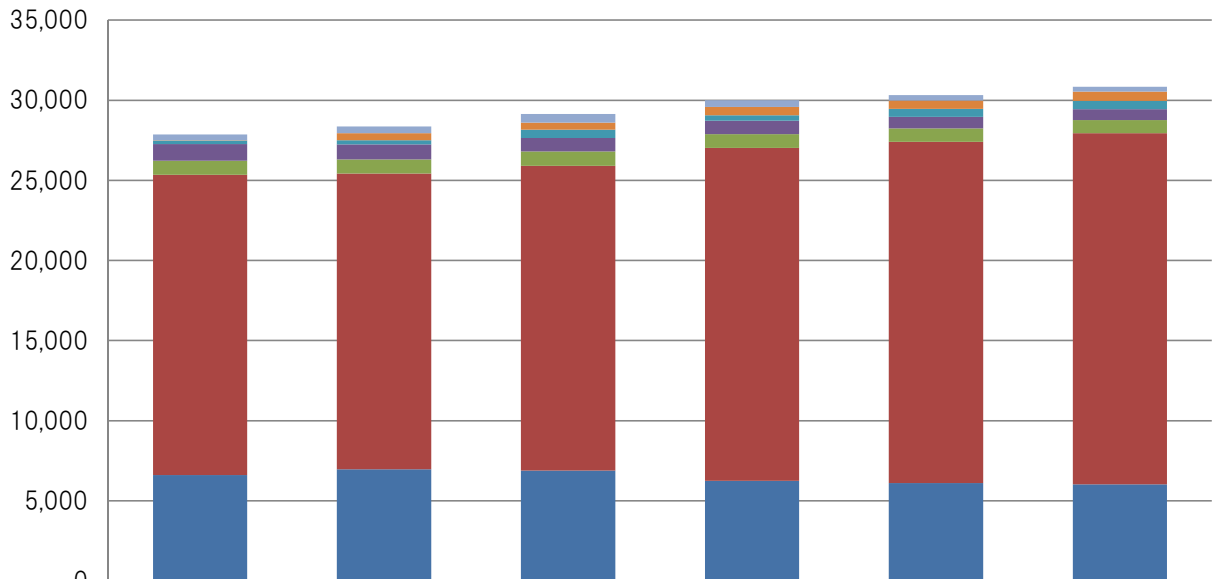


	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
■教育経費	743	703	692	537	520	488
■教育研究支援経費	383	404	383	456	485	417
■受託研究費等	300	355	477	364	305	284
■研究経費	540	816	951	1,133	1,300	1,483
■診療経費	10,739	10,276	11,191	11,520	11,973	12,306
■一般管理費等	607	731	636	542	499	471
■人件費	13,581	14,421	14,551	14,436	14,501	14,476

(単位：百万円)

区分	24年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.6%	・学生に対し行われる教育に要する経費	▲ 32	・補助金財源による備品費の減
	教育研究支援経費	1.4%	・附属総合情報センター（図書館含む）に要する経費	▲ 68	・目的積立金財源による備品費の減
研究	受託研究等	0.9%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	▲ 21	・受入研究減による費用減
	研究経費	5.0%	・研究に要する経費	183	・文科省補助金受入に伴う費用増 ・補助金財源機器の減価償却費増 ・寄附金による経費の増
診療	診療経費	41.1%	・大学病院における診療の実施に要する経費	333	・病院収益の増に伴う費用増 ・医薬材料費の増
管理運営	一般管理費等	1.6%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	▲ 28	・承継資産に係る減価償却費の減 ・各種経費の節約等
	人件費	48.4%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等（受託に係る人件費は含まない）	▲ 25	・外部資金で雇用した人員の人件費増 ・退職者減による退職手当の減

経常収益



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
■受託等	360	407	544	421	333	304
■寄附金	13	442	439	511	513	584
■補助金	224	257	525	356	511	515
■その他	1,030	956	841	821	717	671
■学生納付金	890	876	889	866	846	838
■病院収益	18,735	18,449	19,029	20,775	21,285	21,903
■交付金	6,603	6,973	6,884	6,252	6,110	6,031

(単位：百万円)

区分	24年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.0%	・受託研究 ・受託事業 ・共同研究	▲ 29	・受託研究費の減
	寄附金	1.9%	・奨学寄附金 ・寄附講座	71	・奨学寄附金及び寄附講座の収益化額の増
	補助金	1.7%	・大学改革推進費 (GP) ・研究開発施設共用等促進費	4	・文部科学省補助金の獲得増
その他	その他	2.2%	・研究関連収入 (間接経費) ・財産貸付料収入 ・資産見返負債戻入 ・受取利息	▲ 46	・施設費収益の増 ・科学研究費間接経費収入の増 ・資産見返負債戻入の減
学納金	学生納付金	2.7%	・授業料 ・入学料 ・検定料	▲ 8	・研究生数の減 ・学科新設に伴う授業料収入増
診療	病院収益	71.0%	・附属病院収入 (外来・入院)	618	・入院診療収益増385 ・外来診療収益増231
交付金	運営費交付金	19.6%	・運営費交付金収入	▲ 79	・効率化係数による交付額減少等 ・退職手当交付金の減

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
経常収益	27,855	28,360	29,151	30,002	30,316	30,846
経常費用	26,892	27,706	28,880	28,988	29,583	29,926
経常利益	963	654	271	1,013	732	920
臨時損益	537	▲ 13	▲ 9	0	▲ 2	618
目的積立金取崩	0	40	0	16	125	159
当期総利益	1,500	681	262	1,029	856	1,697

当期総利益の内訳

(単位：百万円)

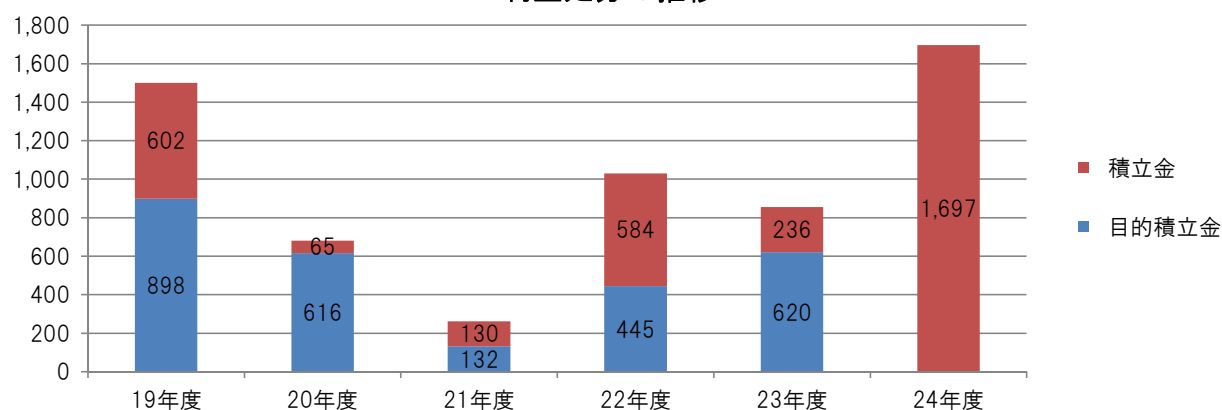
区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
目的積立金	898	616	132	445	620	0
積立金	602	65	130	584	236	1,697

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

なお、平成24年度は中期目標期間の最終年度のため、会計基準に基づき、当期総利益全額を積立金として整理しています。

利益処分の推移



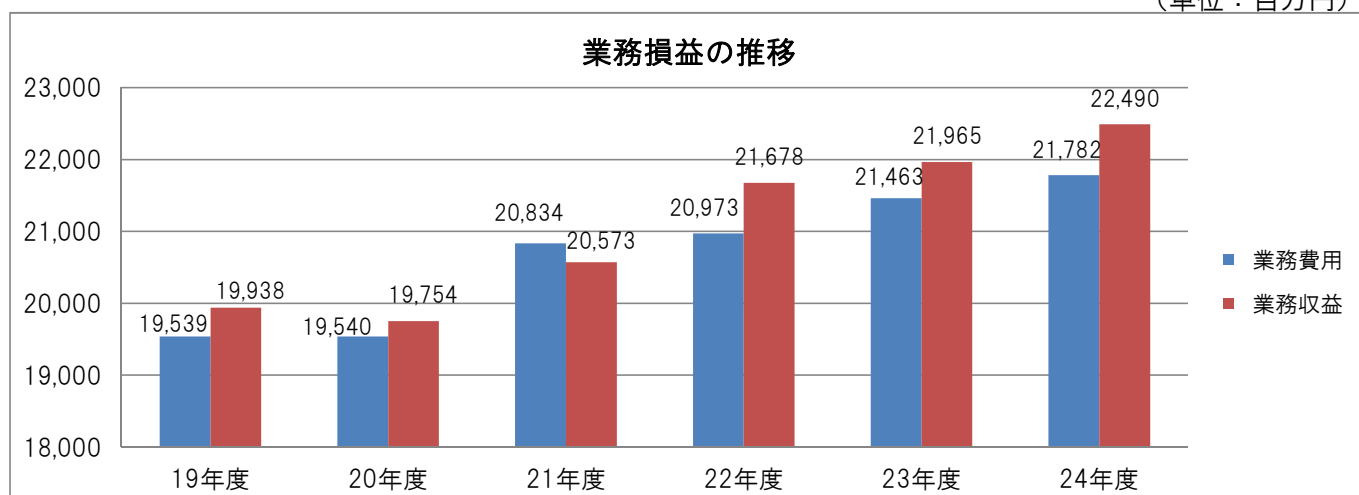
24年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 1,697百万円	目的積立金 —	<ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間の最終年度のため、会計基準に基づき、当期総利益全額を積立金として整理しています。 通常年度における目的積立金相当額についても、積立金となります。
	積立金 1,697百万円	<p>(主な発生要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中期目標期間の最終年度に伴う運営費交付金債務の収益化については、経営努力外による収益の増加であることから、積立金としています。 その他、自己収入の増に伴う資産購入分の利益など、費用とならず現金の裏付けのない利益となっているものは、積立金としています。

附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
業務費用	19,539	19,540	20,834	20,973	21,463	21,782
業務収益	19,938	19,754	20,573	21,678	21,965	22,490
業務損益	399	214	▲ 261	705	502	708

(単位：百万円)



【業務費用】

(単位：百万円)

24年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	102	・教育経費、研究経費、 受託研究費、受託事業費 ・財務費用	▲ 15	・受託費用の減
	0.5%			
人件費	9,374	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	1	・退職手当の減 ・雇用形態の変更による増（委託→直接雇用）
	43.0%			
診療経費	12,306	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	334	・病院収益の増に伴う費用増 ・医薬材料費の増
	56.5%			

【業務収益】

(単位：百万円)

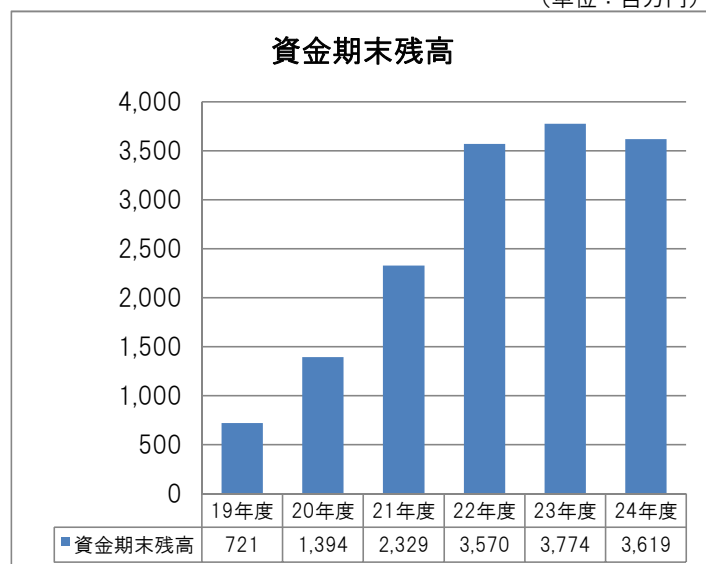
24年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	452	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	▲ 57	・承継資産に係る資産見返負債戻入額の減
	2.0%			
病院運営 費交付金 収益	136	・附属病院に係る交付金	▲ 36	・退職手当交付金の減 ・効率化係数等による交付額の減
	0.6%			
病院収益	21,903	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	619	・入院診療収益増385 (入院患者数：287,882人) ・外来診療収益増231 (外来患者数：484,961人)
	97.4%			

キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外） の取引に係る収入と支出の差額	1,434	1,681	1,727	2,075	2,371	1,366
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、 授業料、受託研究等、寄附金	24,581	27,886	29,076	29,518	30,130	30,973
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・ サービス購入による支出	▲ 23,147	▲ 26,205	▲ 27,349	▲ 27,443	▲ 27,759	▲ 29,607
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入 と支出の差額	▲ 660	▲ 883	▲ 582	▲ 449	▲ 1,567	▲ 796
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 660	▲ 891	▲ 686	▲ 561	▲ 1,569	▲ 604
	(収入) 施設費による収入、資産売却に よる収入	0	841	522	1,014	529	467
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 660	▲ 1,732	▲ 1,208	▲ 1,575	▲ 2,098	▲ 1,071
	投資資産の取得及び売却の取引	0	8	104	111	2	▲ 193
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	0	8	2,404	111	2	1,998
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	0	0	▲ 2,300	0	0	▲ 2,191
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と 支出の差額	▲ 53	▲ 125	▲ 210	▲ 385	▲ 600	▲ 725
	(収入) 長期借入による収入	520	520	520	520	520	520
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、 ファイナンスリース債務の返済	▲ 573	▲ 645	▲ 730	▲ 905	▲ 1,120	▲ 1,245
④資金 増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元 現金・当座預金・普通預金）増減額	721	673	935	1,241	204	▲ 155
⑤資金 期首残高	前期末現預金残高	0	721	1,394	2,329	3,570	3,774
⑥資金 期末残高	当期末現預金残高	721	1,394	2,329	3,570	3,774	3,619

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

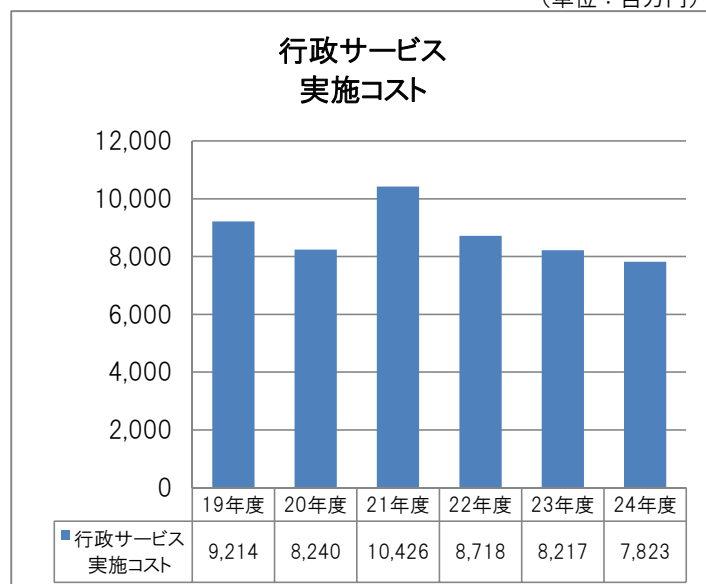
○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

業務実施コストの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	16	16	16	16	16	16
	地方公共団体出資の機会費用等	390	460	478	429	332	186
損益外減価償却等	・ 損益外減価償却相当額 ・ 損益外減損損失相当額	743	790	831	894	994	1,038
	・ 引当外賞与増加見積額 ・ 引当外退職給付増加見積額	549	▲ 440	1,254	1,135	485	504
業務費用	損益計算書上の費用	27,685	27,725	28,889	28,989	29,585	29,928
	(控除)自己収入等	▲ 20,169	▲ 20,311	▲ 21,042	▲ 22,744	▲ 23,196	▲ 23,849
行政サービス実施コスト		9,214	8,240	10,426	8,718	8,217	7,823

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	増減（前年比較）	評価
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	117.1 %	130.9 %	129.9 %	123.5 %	122.8 %	131.8 %	9.0 %	高い値が良い ↑
	流動資産	5,352 百万円	5,890 百万円	7,333 百万円	7,861 百万円	8,137 百万円	8,532 百万円	395 百万円	
	流動負債	4,569 百万円	4,500 百万円	5,643 百万円	6,367 百万円	6,627 百万円	6,471 百万円	▲156 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債+資本（純資産））	79.5 %	80.1 %	74.8 %	74.9 %	75.0 %	75.9 %	0.9 %	高い値が良い ↑
	資本（純資産）	36,042 百万円	36,295 百万円	36,736 百万円	37,369 百万円	37,597 百万円	38,575 百万円	978 百万円	
	負債	9,308 百万円	9,036 百万円	12,374 百万円	12,535 百万円	12,509 百万円	12,249 百万円	▲260 百万円	
	負債+資本（純資産）	45,350 百万円	45,331 百万円	49,110 百万円	49,909 百万円	50,105 百万円	50,825 百万円	720 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	3.5 %	2.3 %	0.9 %	3.4 %	2.4 %	3.0 %	0.6 %	高い値が良い ↑
	経常利益	963 百万円	654 百万円	270 百万円	1,013 百万円	733 百万円	920 百万円	187 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	530 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	51.7 %	53.5 %	51.5 %	50.7 %	49.9 %	49.1 %	▲0.8 %	低い値が良い ↑
	人件費	13,581 百万円	14,421 百万円	14,551 百万円	14,436 百万円	14,501 百万円	14,476 百万円	▲25 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	371 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	2.3 %	2.7 %	2.2 %	1.8 %	1.7 %	1.6 %	▲0.1 %	低い値が良い ↑
	一般管理費	607 百万円	726 百万円	625 百万円	529 百万円	484 百万円	457 百万円	▲27 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	28,988 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	371 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	（受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益）÷経常収益	2.1 %	3.0 %	3.4 %	3.1 %	2.8 %	2.9 %	0.1 %	高い値が良い ↑
	①受託研究収益+受託事業収益	360 百万円	407 百万円	544 百万円	421 百万円	333 百万円	304 百万円	▲29 百万円	
	②寄附金収益	224 百万円	442 百万円	439 百万円	511 百万円	513 百万円	584 百万円	71 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	530 百万円	
外部資金比率 （科学研究費補助金を含む） 【損益計算書】 【附属明細書】	（受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益+科学研究費補助金）÷経常収益	4.7 %	5.0 %	5.4 %	4.8 %	4.6 %	4.7 %	0.1 %	高い値が良い ↑
	上記 ①+②	584 百万円	849 百万円	983 百万円	932 百万円	846 百万円	888 百万円	42 百万円	
	科学研究費補助金	736 百万円	566 百万円	605 百万円	519 百万円	549 百万円	554 百万円	5 百万円	
	経常収益	27,855 百万円	28,360 百万円	29,151 百万円	30,002 百万円	30,316 百万円	30,846 百万円	530 百万円	
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	57.3 %	55.7 %	58.8 %	55.5 %	56.3 %	56.2 %	▲0.1 %	低い値が良い ↑
	診療経費	10,739 百万円	10,276 百万円	11,191 百万円	11,520 百万円	11,973 百万円	12,306 百万円	333 百万円	
	附属病院収益	18,735 百万円	18,449 百万円	19,029 百万円	20,775 百万円	21,285 百万円	21,903 百万円	618 百万円	
1病床あたりの附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	20.0 百万円	19.7 百万円	20.3 百万円	22.1 百万円	22.7 百万円	23.4 百万円	0.7 百万円	高い値が良い ↑
	附属病院収益	18,735 百万円	18,449 百万円	19,029 百万円	20,775 百万円	21,285 百万円	21,903 百万円	618 百万円	
	病床数	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	0 床	
学生1人あたりの教育経費 【損益計算書】 【事業報告書】	教育経費÷学生数	609 千円	573 千円	551 千円	419 千円	402 千円	370 千円	▲32 千円	高い値が良い ↓
	教育経費	743 百万円	703 百万円	691 百万円	537 百万円	520 百万円	488 百万円	▲32 百万円	
	学生数	1,221 人	1,226 人	1,255 人	1,283 人	1,293 人	1,320 人	27 人	
教員1人あたりの研究費 【損益計算書】 【事業報告書】	研究経費÷教員数	1,425 千円	2,119 千円	2,512 千円	3,005 千円	3,448 千円	3,862 千円	414 千円	高い値が良い ↑
	研究経費（※1）	540 百万円	816 百万円	952 百万円	1,133 百万円	1,300 百万円	1,483 百万円	183 百万円	
	教員数	379 人	385 人	379 人	377 人	377 人	384 人	7 人	
教育経費対業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	2.8 %	2.6 %	2.4 %	1.9 %	1.8 %	1.7 %	▲0.1 %	高い値が良い ↓
	教育経費	743 百万円	703 百万円	691 百万円	537 百万円	520 百万円	488 百万円	▲32 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	371 百万円	
研究経費対業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	2.1 %	3.0 %	3.4 %	4.0 %	4.5 %	5.0 %	0.5 %	高い値が良い ↑
	研究経費（※1）	540 百万円	815 百万円	952 百万円	1,133 百万円	1,300 百万円	1,483 百万円	183 百万円	
	業務費	26,286 百万円	26,975 百万円	28,244 百万円	28,446 百万円	29,084 百万円	29,455 百万円	371 百万円	

（※1）平成19年度の研究経費については、寄附金による研究経費支出が少ない。平成19年9月末までの寄附金は、（財）札幌医科大学学術振興会の取り扱いであったため、法人の財務諸表には反映されていない。

（※2）財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

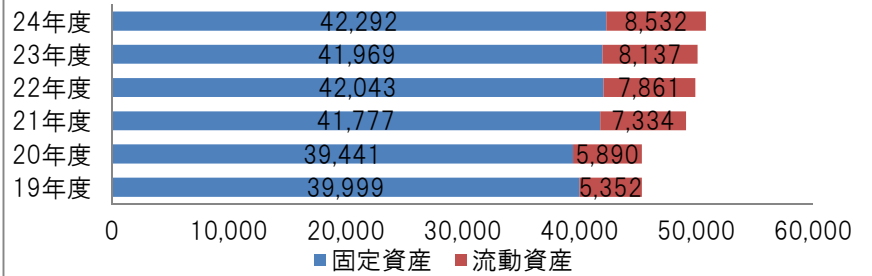
○貸借対照表

資産の部

50,824 百万円

対前年度

718 百万円増加



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

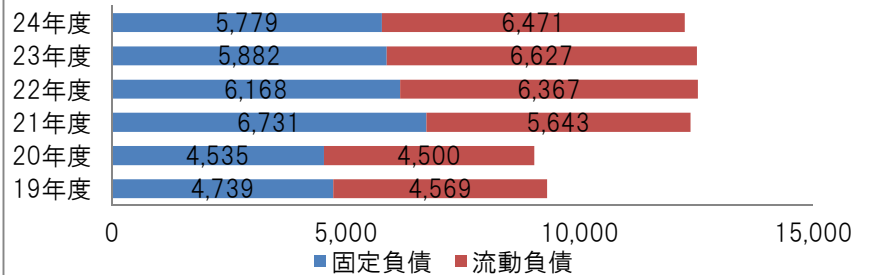
計画的な施設整備・維持・充実を図っており、平成24年度については、附属病院の手術室改修工事等や空調機等の更新工事、外壁改修工事、また教育・研究・診療の機械備品等の新規購入や更新により、資産が増加しています。

負債の部

12,250 百万円

対前年度

▲ 259 百万円増加



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

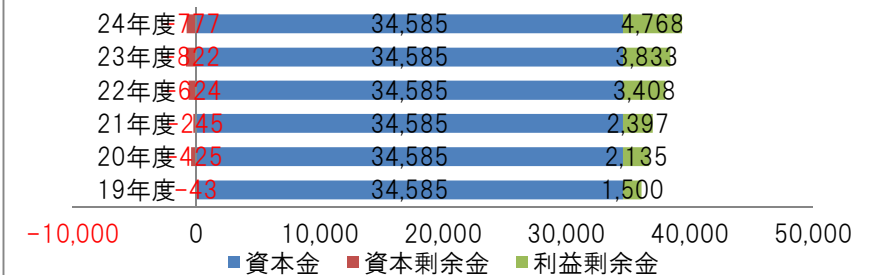
平成24年度は中期目標期間の最終年度となることから、平成19年度から繰り越してきた運営費交付金債務を全額収益化したことなどにより、負債が減少しています。

純資産の部

38,576 百万円

対前年度

980 百万円増加



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

平成24年度は当期利益が17億円あり、利益剰余金が増加しています。

資 産

土地	11,544 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	22,169 百万円	対前年度	▲ 127 百万円
建設仮勘定	7 百万円	対前年度	▲ 16 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。平成24年度は、長期保全計画に基づく空調機更新工事や電力設備更新工事を行うなど、施設の整備・維持・充実に努めました。

工具器具備品	6,350 百万円	対前年度	344 百万円
図書・美術品	836 百万円	対前年度	14 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得や、科学研究費補助金等による備品の現物寄附などにより、減価償却額を上回って増加しています。なお、運営に必要な資産については、適切な設備更新に努めています。また、図書・美術品については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	3,815 百万円	対前年度	41 百万円
-------	-----------	------	--------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

未収入金	4,259 百万円	対前年度	214 百万円
未収学生納付金収入	1 百万円	対前年度	▲ 4 百万円
未収附属病院収入	3,955 百万円	対前年度	37 百万円
その他未収金	303 百万円	対前年度	181 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

平成24年度末においては、未収学生納付金収入については約4百万円減少し、また未収附属病院収入については約37百万円増加しています。

負 債

資産見返負債	2,718 百万円	対前年度	179 百万円
--------	-----------	------	---------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金（固定負債）	1,300 百万円	対前年度	0 百万円
借入金（流動負債）	520 百万円	対前年度	0 百万円

道からの借入金で附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度520百万円の借り入れを行っています（1年据え置き4年間での償還）。
なお、一年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	0 百万円	対前年度	▲ 358 百万円
----------	-------	------	-----------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

なお、平成24年度は、中期目標期間の最終年度となることから、法人化以降の繰越分を全額収益化したことにより、繰越分はありません。

寄附金債務	746 百万円	対前年度	13 百万円
-------	---------	------	--------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	4,795 百万円	対前年度	159 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが3月及び年度末の各種請求に対する未払金であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

純 資 産

資本金	34,585 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 777 百万円	対前年度	45 百万円
-------	-----------	------	--------

非償却資産の取得、施設費や目的積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	4,768 百万円	対前年度	935 百万円
-------	-----------	------	---------

業務に関連して発生した剰余金を示します。前年度から繰り越した目的積立金の残額が1,454百万円あり、その他に積立金1,616百万円と当期の未処分利益1,697百万円が含まれます。

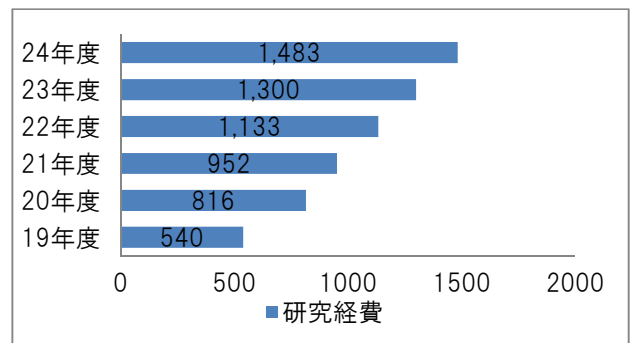
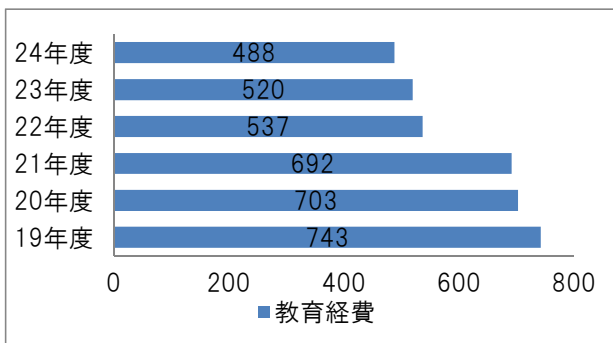
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
488 百万円 対前年度 ▲ 32百万円	1,483 百万円 対前年度 183百万円

・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれます。

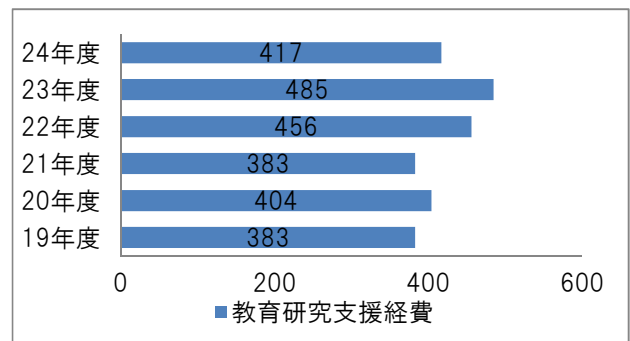
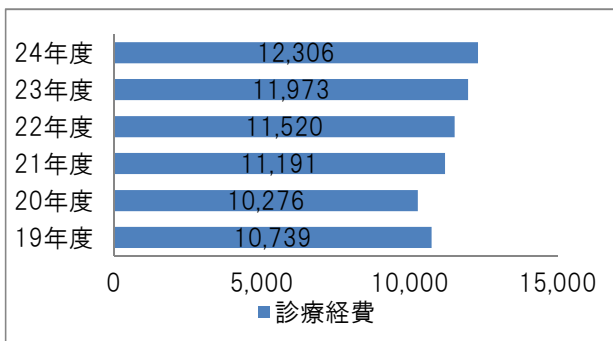
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
・平成24年度は、文部科学省補助金の獲得等により、前年度と比較して183百万円増加しています。



診療経費	教育研究支援経費
12,306 百万円 対前年度 333百万円	417 百万円 対前年度 ▲ 68百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に伴い、経費が増加する傾向があります。
・平成24年度は、患者数の増加に伴い医薬材料費等が増加しています。

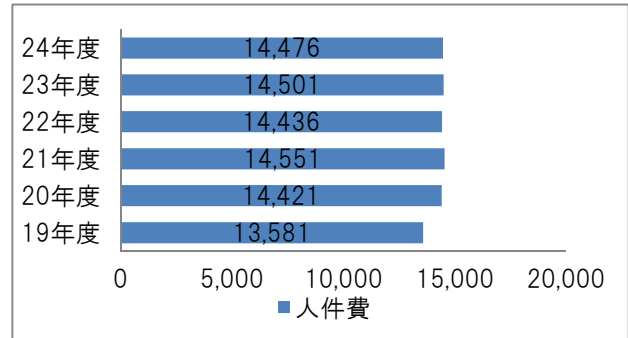
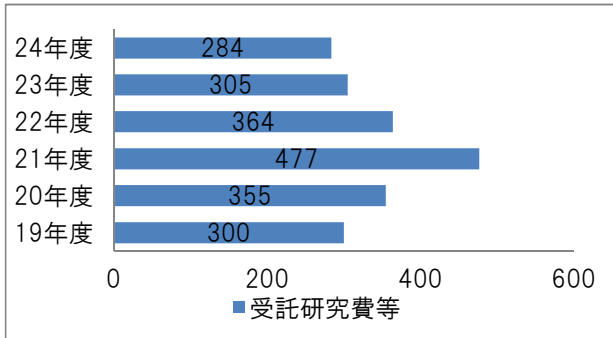
・附属総合情報センター等の大学全体の教育研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれます。



受託研究費等	人件費
284 百万円 対前年度 ▲ 21百万円	14,476 百万円 対前年度 ▲ 25百万円

- ・ 受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。
- ・ 積極的に産学官の連携協力に取り組んでおりますが、平成24年度については、受託研究費が前年度より減少しています。

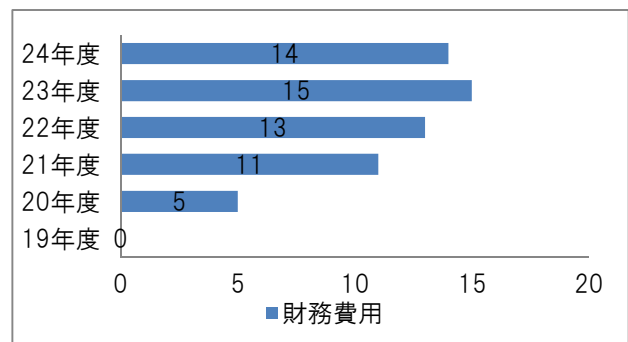
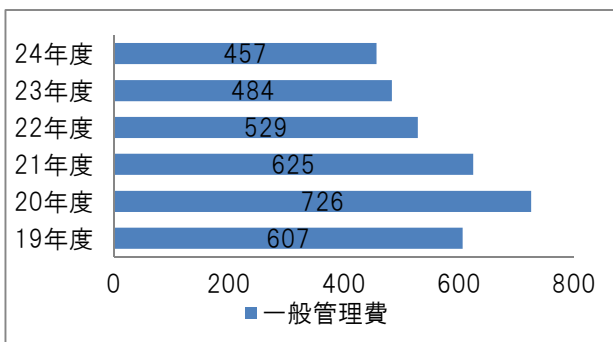
- ・ 役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
- ・ 平成24年度は、外部資金で雇用した人件費が増加した一方で、退職者の減少により退職手当が減少しております。



一般管理費	財務費用
457 百万円 対前年度 ▲ 27百万円	14 百万円 対前年度 ▲ 1百万円

- ・ 大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
- ・ 平成24年度は、各種経費の節減等により、前年度より減少しています。

- ・ 借入金利息の支払いなど財務的な活動に伴う費用です。
- ・ 本学の財務費用は道からの借入金に伴う利息の支払いによるものとなっています。

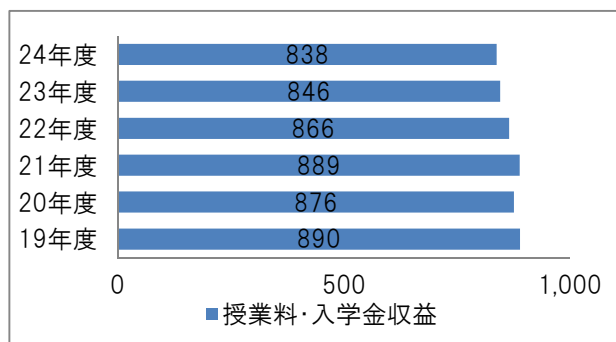
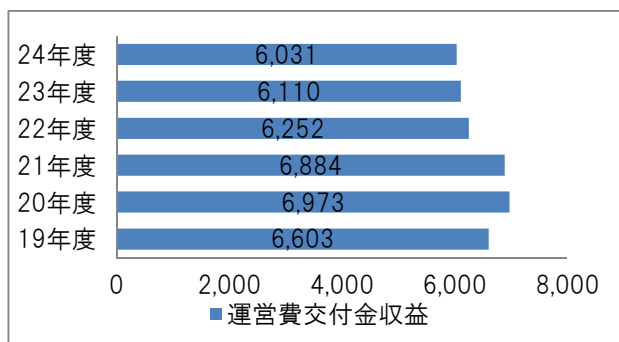


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
6,031 百万円 対前年度 ▲79百万円	838 百万円 対前年度 ▲8百万円

- ・ 大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。効率化係数などの影響により、毎年減少傾向にあります。
- ・ 平成20年度は、職員給与縮減幅の圧縮により、交付金が増加しています。

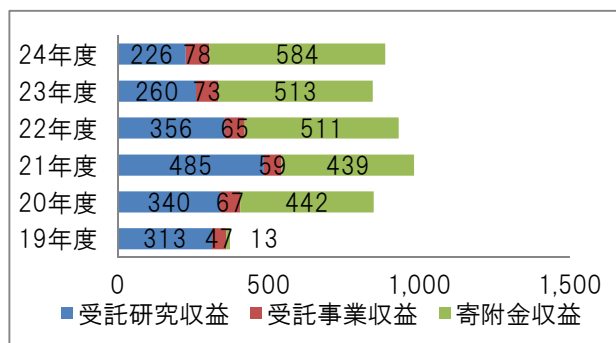
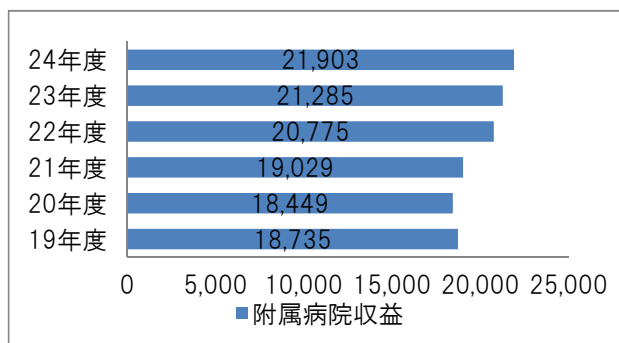
- ・ 授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。
- ・ 平成24年度は、研究生の減で前年度より減少しています。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
21,903 百万円 対前年度 618百万円	888 百万円 対前年度 42百万円

- ・ 病院における診療による収益です。
- ・ 平成24年度は、患者数の増加等により、診療収入が増加しています。前年度と比較して、入院患者数は3,908人の増、外来患者数は11,189人の減となっています。

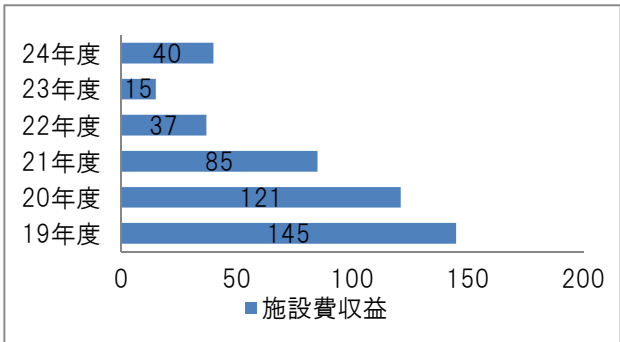
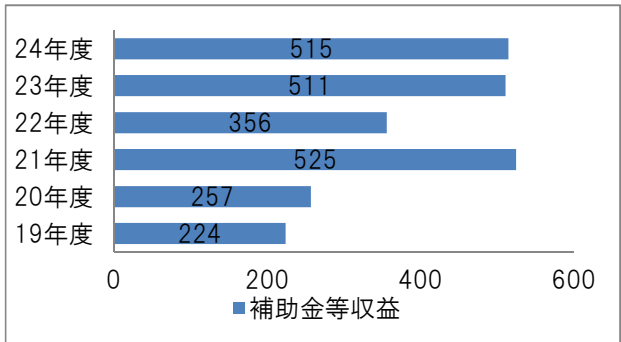
- ・ 受託研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
 - ・ 平成24年度は、受託研究収益が前年度より減少しています。
- ※平成19年9月まで、寄附金は(財)札幌医科大学学術振興会の取り扱いとなっており、財務諸表には反映されていません。



補助金等収益	施設費収益
515 百万円 対前年度 4百万円	40 百万円 対前年度 25百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成24年度は、文部科学省の研究開発施設共用等促進費補助金等の獲得により増加しています。

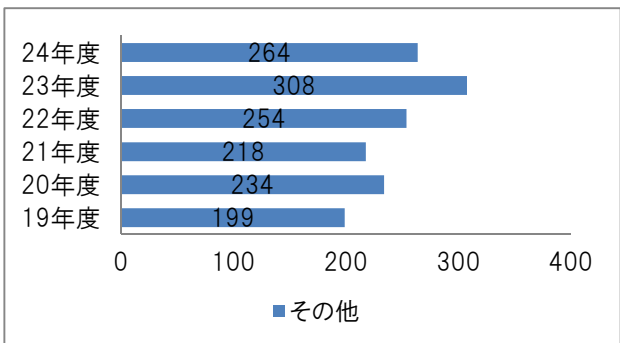
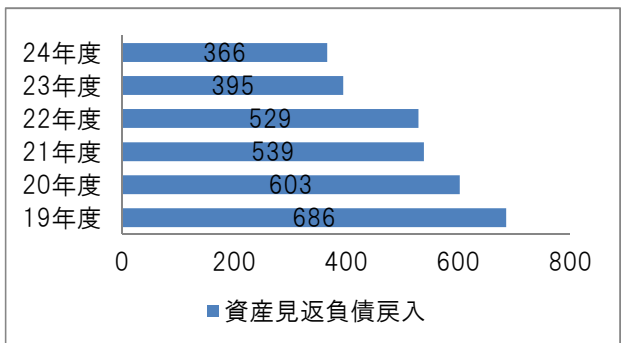
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
366 百万円 対前年度 ▲29百万円	264 百万円 対前年度 ▲44百万円

- ・固定資産取得の際、負債に計上した取得財源毎の資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、公立大学法人会計の特徴的な科目です。
- ・平成19年度の法人化当初、北海道より譲与された備品等の見返負債額が減少しています。

- ・財務収益や財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2013

平成25年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室